◇┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳◆

**食科協かわら版　No.420　（2023年度No.48）**　 　2023/11/24

食の行政情報ならびに食中毒情報をお伝えする食科協のメールマガジン

食中毒情報は１回限り　行政情報は原則2回の掲載で削除します

新しいものは*NEW*マークがついております　期限設定のある記事は　期限終了まで掲載

**青字をスクロール　Ctrlキーを押しながらクリック　もしくは右クリックでハイパーリンクを開く**

◇┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻◆森の中の公園

中程度の精度で自動的に生成された説明

**公開講演会は無事に終了いたしました　ありがとうございました**

|  |  |
| --- | --- |
| **目次** | **ページ** |
| 1. [**食科協関係**](#食科協関係) | **2** |
| 1. [**厚生労働省関係**](#厚生労働省関係) | **2-8** |
| **3**[**食品安全委員会関係**](#食品安全委員会関係) | **8-11** |
| **4**[**農水省関係**](#農水省関係) | **11-15** |
| **5**[**消費者庁関連**](#消費者庁関連)**リコール情報** | **15-20** |
| **6**[**食中毒・感染症**](#食中毒・感染症)  **細菌性食中毒→ウイルス性食中毒→寄生虫→自然毒→感染症→違反品の回収→他**  **各項目発生順で記載　菌種については月により掲載位置が変動しています** | **20-31** |

**１．****[食科協関係](#食科協関係)**

11月17日　 かわら版419号を発行・かわら版ニュース＆トピックス386号を発行

11月21日　 公開講演会開催

11月24日　 かわら版420号を発行・かわら版ニュース＆トピックス387号を発行

**２.****[厚生労働省関係](#厚生労働省関係)**　<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

**★***Link***傍聴・参加が可能な審議会等の会議一覧　ご案内しきれないときもございます**<https://www.mhlw.go.jp/topics/event/open_doors.html>

**★***Link***副反応疑い報告の状況について（とても詳しい資料です）**

**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>

**★***Link***2022年3月31日　国立国際医療研究センター　COVIREGI-JPダッシュボード**

COVID-19 レジストリ研究　“ダッシュボード” 本データの注意点  
<https://www.ncgm.go.jp/pressrelease/2021/20220331.html>  
ダッシュボード  
<https://app.powerbi.com/view?r=eyJrIjoiNGJlMmZmNDctMDk0NC00MjkwLTk0NDgtYmM1MGFkYjNhN2RiIiwidCI6IjZmOGFmOWFkLTU2NDctNGQ2My1hYjIxLWRiODk0NTM3MzJmNyJ9>  
NCGM COVID-19 治療フローチャート（中等症以上成人) <https://www.ncgm.go.jp/covid19/pdf/20220322NCGM_COVID-19_Flow_chart_v5.pdf>

**★***Link***新型コロナウイルス感染症に関する報道発表資料（発生状況、検疫事例）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00432.html>

**■***NEW***第22回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会ワクチン評価に関する小委員会の開催について　2023/11/24**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_36547.html>

**■***NEW***危険ドラッグの成分１物質を新たに指定薬物に指定**

**～指定薬物等を定める省令を公布しました～　2023/11/22**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000212475_00050.html>

厚生労働省は、本日付けで危険ドラッグに含まれる別紙の１物質を新たに「指定薬物」（※１）として指定する省令（※２）を公布し、令和５年12月２日に施行することとしましたので、お知らせします。

新たに指定された１物質は、昨日（11月21日）の薬事・食品衛生審議会薬事分科会指定薬物部会において、指定薬物とすることが適当とされた物質であるため、早急に指定（※３）を行うこととなります。

施行後は、この物質とこの物質を含む製品について、医療等の用途以外の目的での製造、輸入、販売、所持、使用等が禁止されます。

　この物質は、以下の参考情報のとおり、国内の店舗やインターネットで販売されていることから、消費者の皆様には、購入・使用することがないよう注意喚起いたします。

　なお、海外でも流通している物質であり、厚生労働省は危険ドラッグが海外から輸入され、乱用されることのないよう水際（輸入）対策を強化していく方針です。

今後、インターネットによる販売も含め、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づく無承認無許可医薬品としての指導取締りも強化していく方針です。

危険ドラッグについては、事業者の皆様には、販売、購入、輸入等をしないよう強く警告いたします。

（参考情報）

　令和５年９月以降、新たに指定された１物質を含むことが疑われる製品を摂取したとされた後に救急搬送された事例が少なくとも全国で８件報告されています。地方厚生局麻薬取締部は警察や自治体と連携して、令和５年11月20日までに、健康被害に遭った方々が摂取したとされる製品を製造・販売した販売店舗等８カ所に対して、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づく立入検査（※４）と該当製品に対する検査命令・販売等停止命令（※５）を行いました。

※１　厚生労働大臣は、中枢神経系への作用を有する蓋然性が高く、人の身体に使用された場合に保健衛生上の危害が発生するおそれのある物を「指定薬物」として指定する（医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第２条第15項）。指定薬物は、製造、輸入、販売、所持、使用等が禁止されている（罰則：３年以下の懲役または300万円以下の罰金。業としての場合は５年以下の懲役または500万円以下の罰金）。

※２　医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第二条第十五項に規定する指定薬物及び同法第七十六条の四に規定する医療等の用途を定める省令の一部を改正する省令（令和５年厚生労働省令第143号）

※３　部会において指定薬物とすることが適当とされた物質については、使用による健康被害等を防止するため、パブリックコメントの手続きを省略し、指定薬物として早急に指定することとしている。

※４　医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第76条の８第１項

※５　医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第76条の６第１項及び第２項

別紙　<https://www.mhlw.go.jp/content/11126000/001169493.pdf>

新たに指定された指定薬物の名称

［物質１］ 省令名：３－ヘキシル－６ａ，７，８，９，１０，１０ａ－ヘキサヒドロ－６，６，９－トリメチル－６Ｈ－ジベンゾ［ｂ，ｄ］ピラン－１－オール

通称等：HHCH、HHC-H、Hexahydrocannabihexol

**■RSウイルス感染症Q&A（令和5年9月28日改訂）　2023/11/10**

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html>

**■ドイツから輸入される牛肉等に関する措置の見直し案に関する御意見の募集について　2023/11/8**

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495230230&Mode=0>

　受付開始日時 2023年11月8日0時0分

受付締切日時 2023年12月7日23時59分

**■***NEW***食品中の放射性物質の検査結果について（１３６８報）　2023/11/21**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_36388.html>

　２　緊急時モニタリング又は福島県の検査結果

　　※ 基準値超過　１件

　　　No. 515 福島県　　 ソバ　　　 　　（Cs ： 430 Bq / kg )　葛尾村

**■食品中の放射性物質の検査結果について（１３６７報）　2023/11/14**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_36216.html>

　３ 国立医薬品食品衛生研究所における検査

　　 ※ 基準値超過 ２件

No. 1 宮城県　　 クロカワ　 　　（Cs ： 190 Bq / kg )

No. 3 山形県　　 サクラシメジ　 （Cs ： 140 Bq / kg )

**■***NEW***食品安全情報（微生物）No.24 2023（2023.11.22）2023/11/22**

[http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202324m.pdf](http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202324m.pdf%20)

**目次**

**【世界保健機関（WHO）】**

1. 世界保健機関（WHO）が食品由来疾患のサーベイランスおよび対応のツールとして全ゲノムシークエンシング（WGS）法を使用するためのガイダンスを発行

**【米国疾病予防管理センター（US CDC）】**

1. カンタロープメロンに関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ（Salmonella　Sundsvall）感染アウトブレイク（2023 年 11 月 17 日付初発情報）

2. 乾燥ドッグフードに関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ（*Salmonella*　Kiambu）感染アウトブレイク（2023 年 11 月 9 日付初発情報）

**【カナダ公衆衛生局（PHAC）】**

1. 公衆衛生通知：Malichita ブランドのカンタロープメロンに関連して発生しているサルモネラ（*Salmonella* Soahanina および *S*. Sundsvall）感染アウトブレイク（2023 年 11月 17 日付初発情報）

2. 公衆衛生通知：生ペットフードおよびウシとの接触に関連して発生している広範囲薬剤耐性サルモネラ（*Salmonella* I 4,[5],12:i:-）感染アウトブレイク（2023 年 11 月 11 日付初発情報）

**【欧州疾病予防管理センター（ECDC）】**

1. 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病 － 2020 年次疫学報告書

**【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】**

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

**【欧州食品安全機関（EFSA）】**

1. 慢性消耗病（CWD）モニタリングの結果（IV）

**【英国食品基準庁（UK FSA）】**

1. 輸入エノキダケのリステリア（*Listeria monocytogenes*）汚染に関する助言

**【ProMED-mail】**

1.コレラ、下痢、赤痢最新情報（24）（23）

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.24 2023（2023.11.22）　023/11/22**

[http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202324c.pdf](http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202324c.pdf%20)

**＜注目記事＞**

**【FAO/WHO】 第 46 回コーデックス総会（CAC46）**

2023 年 11 月 27 日～12 月 2 日、イタリア・ローマの FAO 本部で CAC46 が物理的開催される。重要な議題の一つがジルパテロール塩酸塩の最大残留基準値（MRLs）案の採択である。開催に先立ち、Steve Wearne 議長が議論の進め方についての提案書を発表した。それによると、ステップ 8 に進めるのか否か、次にステップ 8 で MRLs 案を最終採択するのか否か、という 2 段階で討議を行い、いずれの段階でも合意が得られない場合には投票で決定することを提案している。

**【FDA】 高濃度の鉛の調査：Cinnamon Applesauce パウチ(2023 年 11 月)**

2023 年 10 月 31 日、Wanabana LLC は、鉛が高濃度で含まれる可能性を理由に、すべての WanaBana Apple Cinnamon Fruit ピューレパウチの自主的リコールを開始した

さらに 2023 年 11 月 9 日、当社はリコールの発表対象を拡大し、Schnucks 及び Weis のcinnamon applesauce パウチに関する情報を追加した。2023 年 11 月 16 日時点で、FDAに提出されたリコール製品に関連する可能性のある病気の報告は 34 件である。

**＊ポイント：** 前号の注目記事でご紹介した米国のリコール情報の続報です。当初の被

害者数は 4 名でしたが、その報告数は徐々に増えているようです。続報では、リコール対象の製品から 2.18 ppm の鉛が検出されたと報告していますが、まだ 1 製品のみなので他の製品の濃度がどの程度なのかは不明です。状況証拠から汚染源は原料として使用されたエクアドル産のシナモンを疑っていますが、シナモン自体の鉛濃度はまだ検査していないとして特定には至っていません。一般的な加工食品の鉛汚染による健康被害の報告はまれです。被害者数の増加状況をみると、このリコール問題はもうしばらく続くと予想されますので、次号以降も注目していきます

**【別添 EC】 グリホサートの認可の更新又は拒否について加盟国の合意が特定多数に達しなかった**

欧州委員会（EC）では、農薬の有効成分グリホサートの認可更新について審査委員会（Appeal Committee）で投票による採択を諮ったが、更新又は拒否のいずれにも必要な特定多数を得ることができず、合意に達しなかった。そのような状況に陥った場合、EUの法律のもと、EC には現行の認可期間が満了する前に決定を下す義務がある。そのためEC は、2023 年 7 月に提出された EFSA の評価結果に基づき、一定の使用条件及び制限を設けた上で、グリホサートの認可を 10 年間更新する手続きを進めることとなった。制限としては、収穫前の乾燥剤としての使用の禁止、非標的生物/植物を保護するための特定措置を講じることなどが含まれている。

**＊ポイント：** 昨年 12 月より延期されていたグリホサートの認可が 10 年間更新される

ことが決定しました。ただし、本決定は EU レベルでの話であり、グリホサート製品の上市を認可するか否かは、各加盟国による国内での認可次第となります。今回の特定多数決方式による投票で合意に至らなかったことを踏まえると、EU での認可は更新されたものの、加盟国レベルではまだ騒動は続きそうです

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.24 2023（2023.11.22）　023/11/22　別添**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202324ca.pdf>

**● 欧州委員会（EC：Food Safety: from the Farm to the Fork）**

<https://ec.europa.eu/food/safety_en>

**１．グリホサートの認可の更新又は拒否について加盟国の合意が特定多数に達しなかった**

No qualified majority reached by Member States to renew or reject the approval of glyphosate

16 November 2023

<https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en/statement_23_5792>

本日、審査委員会（Appeal Committee）での投票において、加盟国はグリホサートの認可を更新又は拒否するために必要な特定多数（qualified majority）を得ず、合意に達しなかった。これは、10 月 13 日の植物・動物・食品及び飼料の常任委員会（SCOPAFF）での前回の投票に続くものであり、その際にも加盟国は提案を更新又は拒否するために必要な過半数に達しなかった。

EU の法律に従い、更新又は拒否のいずれにも必要な過半数に達しなかった場合、欧州委員会には、現行の認可期間が満了する 2023 年 12 月 15 日までに決定を採択する義務がある。欧州食品安全機関（EFSA）と欧州化学品庁（ECHA）、欧州連合（EU）加盟国によって実施された包括的な安全性評価に基づき、欧州委員会は今後、一定の新しい使用条件と制限を設けた上で、グリホサートの承認を 10 年間更新する手続きを進めることになる。これらの制限には、収穫前の乾燥剤としての使用の禁止及び標的としない生物を保護するための特定の措置の必要性が含まれる。

加盟国は、グリホサートを含む植物保護製剤(PPP)の国内の認可に責任があり、リスク評価の結果に基づいて、特に生物多様性を保護する必要性を考慮して必要と判断した場合は、国家及び地域レベルで使用を制限することができる。

食品安全情報（化学物質）No. 24/ 2023（2023. 11. 22）別添

**グリホサートの認可の更新について：Q＆A**

Renewal of the approval of glyphosate: Questions and Answers16 November 2023

<https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en/QANDA_23_5793>

1. 欧州委員会はグリホサートの認可を更新するか?

欧州連合（EU）の農薬に関する法律にあるように、そしてコミトロジー（Comitology）規則に従い、審査委員会（Appeal Committee）で特定多数が得られない場合、欧州委員会は現行の認可の有効期限（2023 年 12 月 15 日）までに決定を採択する法的義務がある。欧州委員会は、グリホサートによるヒト、動物及び環境の健康に及ぼす影響について EFSA が行った評価に基づき、認可の更新の妨げとなる重要な懸念事項を特定しなかったため、一定の使用条件及び制限を設けた上で、グリホサートの認可を更新する規則案を採択する(Q5 参照)。

2023 年 11 月 16 日、審査委員会での投票で、グリホサートの認可を 10 年間更新するという委員会の提案について、加盟国は特定多数に達しなかった。これは、2023 年 10 月 13日の植物・動物・食品及び飼料の常任委員会（SCOPAFF）での前回の投票でも、加盟国が提案を更新(又は拒否)するために必要な過半数を得ず、合意に達しなかったことに続くものである。

2. 欧州委員会の決定の根拠は何か。

認可更新の提案は、EFSA と ECHA が加盟国とともに実施した包括的な安全性評価に基づいている。

この科学的な作業は、報告担当国（Rapporteur Member States）として指定されたフランス、ハンガリー、オランダ、スウェーデンの加盟国グループ（グリホサートに関する評価グループ／AGG：Assessment Group on Glyphosate）によって 2019 年 12 月に開始された徹底的な評価プロセスの結果である。

グリホサートによるヒト、動物及び環境の健康に及ぼす影響について EFSA が行った評価では、認可の更新を妨げる重要な懸念事項は特定されなかった。この科学的な作業では、EU 法で義務付けられている規制研究と、これまで発表されたことのない科学文献の両方の利用可能なすべての情報を考慮した。公開文献から提出されたすべての研究は、EFSA のガイダンス（農薬有効成分の認可のための科学的ピアレビュー公開文献の提出について）に従い、リスク評価の手続きへの妥当性と信頼性に基づいて評価された。

グリホサートの事例では、申請者は 16,000 件以上の公表された研究をスクリーニングした。そのうち約 2,000 件が関連性ありと考えられ、更に妥当性を評価され、全てをスクリーニングした後に約 780 件の関連文献が得られた。AGG が実施した評価に関するパブリックコメントでは、300 件の追加研究に AGG と EFSA は注目した。EFSA 結論とすべての背景

資料は、EFSA のウェブサイトで公開されている。

（<https://open.efsa.europa.eu/study-inventory/EFSA-Q-2020-00140>　）

3. EU レベルでの認可更新の決定は、加盟国におけるグリホサートを含む製品の使用認可にどのような影響を与えるか。

加盟国は、グリホサートを含む植物保護製剤(PPP)の国内の認可に引き続き責任を負う。EU の規制制度は、PPP の上市について 2 段階のプロセス（EU レベルの認可+加盟国レベルの認可）を定めている。EU レベルで有効成分が認可された後、その有効成分を含むPPP を市場に出したり使用したりする前に、各加盟国でそれぞれ評価され、認可されなければならない。加盟国は、そのような評価を行い、認可する前に、EU レベルでの認可において設定された特定の条件と、自国の国内事情（例：地理的気候条件、農業生産システムなど）を考慮しなければならない。

このように、加盟国は、グリホサートを含む PPP の国内の認可に責任を負っている。EUレベルでの認可更新後は、すべての国内承認が再度レビューされなければならない。EU で認可更新時に設定された条件と制限に照らして、加盟国はリスク評価の結果をもとに、特に生物多様性を保護する必要性を考慮し、必要と判断した場合は、国又は地域レベルでの使用を制限することができる。

4. なぜ欧州委員会は、有効成分の認可更新のための通常の 15 年ではなく、10 年の認可更

新を採択するのか?

2023 年 12 月 15 日に失効するグリホサートの現在の認可は、2012 年から 2017 年の間に実施された包括的な評価を受けて、例外的に 5 年間認められていた。

グリホサートは再び完全な再評価が行われ、それは 4 年（2019 年から 2023 年の間）を要し、大量の科学的情報を考慮した厳格なプロセスであった。

以前の評価と今回の評価の両方で、重大な懸念は同定されなかった。したがって、農薬に関する EU 法に定められた認可基準を満たしていることが、短期間のうちに 2 度確認されたことになる。

現在の更新プロセスは、非常に広範なエビデンスの徹底的な評価に基づいている。したがって、短期的に考えると、重要な新しい科学的情報や知見が出て、異なる結果をもたらすことは予想されない。そのため、比較的短期間のグリホサートの更新は妥当でない。

とはいうものの、グリホサートは盛んに研究されており、ヒトの健康と環境の保護に関連する特性に関する新しい知見を得られることが期待できる。もし認可基準を満たしていないことを示すエビデンスが現れた場合、EU レベルでの認可のレビューはいつでも開始することができ、それが科学的に正当であった場合には、欧州委員会は、認可を修正又は撤回するために直ちに行動を起こすつもりである。

これらの考慮事項のバランスをとるために、欧州委員会はグリホサートの認可更新を、可能な最大期間よりも大幅に短い期間、すなわち 10 年で採択する。これは、有効物質の認可更新に関する EU 規則に従い、申請者がグリホサートを市場に維持したい場合は、7 年後に申請書を提出する必要があることを意味する。

更に、各植物保護製剤の使用は、加盟国の認可を得る必要がある。

5. 本決定（Decision）には使用条件及び制限が含まれるか。

植物保護製剤に関する EU の法律は、欧州委員会が有効成分を認可する際に、その物質の安全な使用のために必要であれば、条件又は制限を課す可能性があることを予見している。グリホサートの認可を更新する提案の一部として、欧州委員会はいくつかの新しい条件を含めた：

 乾燥剤としての使用を禁止する（収穫時期の管理や脱穀の最適化を目的としたもの）

 グリホサート中の 5 つの不純物の最大基準値を設定する（すなわち、製造された原料において）。最大基準値は、ヒトと環境が完全に保護されることを保証するために設定される。

 加盟国がリスク評価を実施する際、特定の面（例えば、ハタネズミのような小型草食哺乳類や野草などの非標的植物の保護）に特別な注意を払い、標的としない生物と環境が保護されることを保証するためにリスク低減措置を設定すること。

 認可が申請された特定の用途に関するリスク評価の結果において、それ以上の散布率が小型草食哺乳動物に許容できない影響がないことを実証しない限り、超えてはならない最大散布率を設定する。

 適切なガイダンス文書が入手可能になってから 3 年以内に、生物多様性への間接的影響の可能性に関する情報の提出を申請者の義務とする。欧州委員会は、必要なガイダンスを作成するよう EFSA に要請する。

6. グリホサートに発がん性があると言う人たちにどう回答するか?

入手可能なすべての情報の評価に基づいて、現時点で、グリホサートを発がん性があると分類するエビデンスはない。

2023 年 5 月 30 日、ECHA はグリホサートの分類と表示に関する意見書を採択し、グリホサートを発がん性（変異原性や生殖毒性も）として分類しないことを確認した。この意見書は、2017 年に発表された ECHA の初期の意見書を確認するものである。

これは、世界中のほとんどの主要な規制機関が共有する意見である。

EFSA は、グリホサートが内分泌かく乱物質ではないことも確認した。ECHA の意見は、EFSA によるピアレビュープロセスで考慮されている。

7. グリホサートの安全性を疑問視する新たな科学的エビデンスが現れた場合、本決定（Decision）は見直される可能性があるか?

更新決定の一環として大規模な評価が実施され、グリホサートはおそらく世界で最も広く研究されている有効成分となっている。

しかし、認可基準を満たしていないことを示す新たなエビデンスが出てきた場合、それが科学的に正当であった場合には、欧州委員会は、認可を修正又は撤回するための措置を直ちに講じるつもりである。

＊関連記事

食品安全情報（化学物質）No. 2/ 2023（2023. 1. 18）

【EC】グリホサート：認可期間の延長について

<https://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202302c.pdf>

食品安全情報（化学物質）No. 16/ 2023（2023. 08. 02）

【EC】グリホサート

<https://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202316c.pdf>

食品安全情報（化学物質）No. 20/ 2023（2023. 09. 27）

【EC】グリホサート

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202320c.pdf>

以上

食品化学物質情報

連絡先：安全情報部第三室

**3.****[食品安全委員会関係](#食品安全委員会関係)**　<https://www.fsc.go.jp/>

**■***NEW***食品安全委員会（第922回）の開催について　2023/11/22**

**最近、発表が遅く、締め切りが早くなっております。参加をご希望の場合は、各自ご確認ください**

標記会合を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本会合については、傍聴者を入れずに開催いたしますが、本会合の様子については、下記４のとおり、web上で動画配信することといたしました。

議事録につきましては、後日、食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>） に掲載いたします。大変御迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

記

１．開催日時：令和5年11月28日（火）　１４：００〜

２．開催場所：食品安全委員会 大会議室　（港区赤坂５−２−２０ 赤坂パークビル２２階)

３． 議事

　（１）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について

・農薬　７品目（厚生労働省からの説明）

　　　　イソフェタミド

　　　　カルベンダジム、チオファネート、チオファネートメチル及びベノミル

　　　　ジンプロピリダズ

　　　　スピロテトラマト

　　　　ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート

　フルキサメタミド

　フルペンチオフェノックス

・動物用医薬品　１品目（評価申請の取下げ）（厚生労働省からの説明）

　トビシリン

・農薬　２品目（農林水産省からの説明）

　　　　カルベンダジム、チオファネート、チオファネートメチル及びベノミル

　　　　ピペロニルブトキシド

・プリオン　１案件（農林水産省からの説明）

　牛肉骨粉等の鶏・豚等飼料への利用再開について

（２）汚染物質等専門調査会における審議結果について

・「カドミウム」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

（３）動物用医薬品専門調査会における審議結果について

・「フェノキシエタノールを有効成分とする鈴木芽魚類の薬翌剤（バイオねんね）」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

（４）遺伝子組換え食品等専門調査会における審議結果について

・「JPAo006株を利用して生産されたリパーゼ」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

・「JPAo011株を利用して生産されたホスホリパーゼ」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

（５）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見について

・動物用医薬品「ブロフラニリドを有効成分とする鶏舎噴霧剤（リブケアFL）」に係る食品健康影響評価について

（６）その他

４．動画視聴について

：本会合については、その様子を動画配信するとともに、会場での傍聴も受け付けます。動画の視聴又は会場での傍聴を希望される方は、11月27日（月）12時までに、内閣府共通意見等登録システム(<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-1404.html>　にて申し込みいただきますようお願いいたします。

　動画の視聴をお申し込みいただいた方には、御登録いただいたメールアドレス宛てに視聴に必要なURLを、11月28日（火）12時までに御連絡いたします。

　　なお、会場での傍聴席は限りがありますので、傍聴を希望される方が多数の場合には原則として先着順とさせていただき、傍聴可能な方には11月27日（月）18時までに御登録いただいたメールアドレス宛てにご連絡いたしますので、受付時間（13：30〜13：50）までに会議室入口で受付をお済ませください。受付時間終了後は入場出来ませんので、ご了承ください。会場で傍聴できない方については、動画視聴に必要なＵＲＬをご送付させていただきます。

　　また、当日の配布資料につきましては、会議開催前までに食品安全委員会のウェブサイト（　<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>　）に掲載予定ですので、必要に応じて参照いただきながら、ご覧ください。

※動画視聴時の録画及び録音、画面撮影はご遠慮ください。

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai804.html>

<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/> 　**←発表がない場合はこちらからご確認ください**

**会議の結果は下記から確認できます**

**★***Link***食品安全委員会　開催実績リンク　開催日時、配付資料、議事録等**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>

<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_hisiryou_muramidase_030512.html>

**■***NEW***プリオン「スウェーデンから輸入される牛肉及び牛の内臓」に係る食品健康影響評価を公表しました　2023/11/21**

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya15010824502>

　評価書詳細

項目 内容 添付資料ファイル

評価案件ID kya15010824502 -

評価品目名 スウェーデンから輸入される牛肉及び牛の内臓について（さらなる月齢条件の引き上げ） -

評価品目分類 プリオン -

用途 - -

評価要請機関 厚生労働省 -

評価要請文書受理日 2015年1月8日

評価要請の根拠規定 食品安全基本法第24条第3項 -

評価目的 スウェーデンから輸入される牛肉及び牛の内臓に係る輸入条件を設定するに当たっての食品健康影響評価 -

評価目的の具体的内容 国際的な基準を踏まえてさらに月齢の規制閾値（30か月齢）を引き上げた場合のリスクを評価 -

評価結果通知日 2023年11月21日 -

評価結果の要約

リスク管理措置の適切な実施に加え、2019年1月評価と同様に牛と人との種間バリアの存在も踏まえると、食品安全委員会は、スウェーデンから輸入される牛肉及び牛の内臓について、月齢制限を「条件なし」としたとしても、牛肉等の摂取に由来する定型BSEプリオンによるvCJD発症の可能性は極めて低いと考える。

なお、非定型BSEについては、「定型BSEに対して実施されるものと同様の適切なリスク管理措置を前提とすれば、牛肉及び牛の内臓（SRM以外）の摂取に由来する非定型BSEプリオンによるvCJDを含む人のプリオン病発症の可能性は極めて低いものと考える。」とした国内評価（国内の健康と畜牛のBSE検査の廃止に関する2016年8月評価）における見解に影響を及ぼす新たな知見はない。

以上から、諮問事項の「国際的な基準を踏まえてさらに月齢の規制閾値（30か月齢）を引き上げた場合のリスク」に関し、スウェーデンから輸入される牛肉及び牛の内臓の月齢制限を「条件なし」としたとしても、人へのリスクは無視できると判断した。

本評価結果は、現在実施されているリスク管理措置を前提としたものである。そのため、リスク管理機関は、特に各国における飼料規制、サーベイランス、と畜前検査及びSRM除去に関する制度の変更を含めた規制状況について、積極的かつ継続的に情報を収集する必要がある

評価結果の要約補足 -

**■動物用ワクチンの添加剤の食品健康影響評価結果を更新しました　2023/11/16**

<https://www.fsc.go.jp/senmon/doubutu/>

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20231023do2>

**■乳及び乳製品の成分規格等に関する省令の改正に係る食品健康影響評価に関する審議結果（案）についての意見・情報の募集について　2023/11/15**

<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_biseibutu-virus_jouonhozon_051115.html>

　　標記の件について、別紙のとおり、令和５年１１月１５日から令和５年１２月１４日までの間、意見・情報の募集を行いますのでお知らせします。

**■***NEW***食品安全関係情報更新（令和5年9月23日から令和5年10月5日）2023/10/23**

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from_year=2023&from_month=9&from_day=23&to=struct&to_year=2023&to_month=10&to_day=5&max=100>

**４．****[農水省関係](C:\\Users\\chichi2\\AppData\\Roaming\\Microsoft\\Word\\農水省関係)**<https://www.maff.go.jp/>

**★***Link***ウクライナ情勢に関する農林水産業・食品関連産業事業者向け相談窓口**

<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/sodan.html>

**■***NEW***第1回海業推進全国協議会の開催について　2023/11/20**

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/bousai/231120.html>

　～海業(うみぎょう)で漁村のにぎわいや所得・雇用を創出しよう！～

水産庁は、海業への理解の促進と取組の全国展開を推進するため、「第1回海業推進全国協議会」を令和5年12月13日(水曜日)に開催します。なお、本協議会は公開です。

　1.概要

漁村では、全国平均を上回る速さで人口減少や高齢化が進行しており、漁村のにぎわいを創出していくことが重要な課題となっています。このため、関係者が一体となって海や漁村に関する地域資源を活かした海業を漁港・漁村で展開し、地域のにぎわいや所得を生み出すことが重要です。

このたび、水産庁は、地方公共団体、漁協・漁業関係者、民間企業、民間団体等の海業に関心を持つ幅広い関係者の皆様を対象に、「第1回海業推進全国協議会」を開催します。水産庁から海業に関する政策情報を提供するとともに、優良な取組事例の発表等により海業の取組の普及・横展開を図ります。

2.開催日時

日時：令和5年12月13日(水曜日)13時30分から17時00分まで

会場：農林水産省本省7階講堂

所在地：東京都千代田区霞が関1-2-1

3.内容

1.海業推進に向けた政策について(水産庁計画課)

2.講演

(1)海業に関する基調講演　国立大学法人東京海洋大学 副学長 婁ろう 小波 しょうは氏

(2)取組事例の講演

　　　(ア) 神奈川県三浦市 市長室長 徳江 卓氏

　　　(イ) 田尻漁業協同組合 参事 上野 公敬氏

　　　(ウ) 高知県漁業協同組合上ノ加江支所 支所長 大高 明氏

　　　(エ) NPO法人かまえブルーツーリズム研究会 理事長 橋本 正惠氏

　　　(オ) 株式会社デジサーフ 代表取締役社長 高橋 佳伸氏

　　　(カ) JTB和歌山支店 営業課長 颯田 康一氏

3.質疑応答　(注)オンライン傍聴の方は傍聴のみとなります。

4.参加可能人数

会場参加及びオンラインでの一般傍聴及び報道傍聴を予定しています。(会場参加は先着200名まで、オンラインでの傍聴は先着500名まで)

5.参加申込要領

(1)申込方法

本協議会は会場参加及びZoom配信によるオンライン傍聴が可能です。以下の参加申込フォームに必要事項を明記の上、お申し込みください。

なお、お申し込みいただきました方には、参加の可否、当日の会場参加方法及びオンライン傍聴方法について改めてご連絡いたします。

〈会場参加及びオンライン傍聴申込フォーム〉

<https://www.contactus.maff.go.jp/jfa/form/bousai/umigyo231213.html>

(2)申込締切　12月7日（木曜日）12時00分

(3)協議会に参加する場合の留意事項

会場参加又はオンライン傍聴にあたり、次の留意事項を遵守してください。これらを守られない場合は、参加をお断りすることがございます。

〈会場参加の場合〉

(ア) 担当職員の指定した場所以外の場所には立ち入らないこと。

(イ) 携帯電話等はマナーモードに設定の上、会場内の通話は控えること。

(ウ) (報道関係者以外の方)協議会中、撮影・録音を行わないこと。

(エ) 指定された場所以外で喫煙しないこと。

(オ) 銃砲刀剣等その他危険なものを持ち込まないこと。

(カ) 咳、発熱などの症状がある場合は入館できません。

(キ) その他、担当職員の指示に従うこと。

〈オンライン傍聴の場合〉

(ア) オンライン傍聴中はカメラ・マイクをミュートに設定すること。

(イ)（報道関係者以外の方）オンライン配信される映像・音声の録画・録音を行わないこと

(ウ) オンライン傍聴用の URL を第三者に転送したり SNS で公開したりしないこと。

(エ) ネット通信料は、傍聴者の負担となります。

(オ) パソコン、タブレット、スマートフォン等での傍聴が可能ですが、安定したネットワーク環境を推奨しています。

(カ) ネットワークの回線状況や Wi-Fi 環境により動作に支障が出る場合がございますのであらかじめご了承ください。

(キ) その他、担当職員の指示に従うこと。

**7.参考**

**海業（うみぎょう）の推進について（水産庁HP）**

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/keikaku/230718.html>

**お問合せ先**

**〈協議会開催に関すること〉**

**漁港漁場整備部防災漁村課　担当者：蓬田、内海、佐藤**

**代表：03-3502-8111（内線6905）ダイヤルイン：03-6744-2392**

**〈海業推進政策に関すること〉**

**漁港漁場整備部計画課　担当者：河野、加藤**

**代表：03-3502-8111（内線6846）ダイヤルイン：03-3506-7897**

**■***NEW***農林水産物・食品の海外での模倣品疑義情報相談窓口を設置　2023/11/17**

<https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/chizai/231117.html>

　 農林水産省は、日本の農林水産物・食品の海外での模倣品がジャパンブランドの毀損や輸出促進の阻害要因となることから、関係省庁と連携して、模倣品に取り組む枠組を新たに設けることとしました。その第一弾として、タイ（バンコク）の輸出支援プラットフォーム内に疑義情報を受け付ける模倣品疑義情報相談窓口を設置しました。

既に海外展開している又は、海外展開を検討中の事業者・団体から広く情報提供や相談を受けつけることとしております。また、この取組は、今後、各輸出支援プラットフォームに拡大予定です。

1. 概要

　　日本の農林水産物・食品は、海外で高く評価されている一方、海外で模倣品（偽物）の流通が多数発見されていることを受け、農林水産省は、関係省庁と連携し、海外における日本の農林水産物・食品の模倣品対策に取り組んでいます。この度、海外における日本の農林水産物・食品の模倣品に関する疑義情報や相談を広く受け付け、これに対応する枠組みとして「農林水産物・食品海外模倣品疑義情報相談窓口」（以下「相談窓口」と言います。）を新設します。

　　従前より、農林水産省においては、GI生産者団体等の海外展開等を、特許庁・JETROにおいては中小企業の商標等の海外出願等を支援しています。今般、相談窓口を、輸出支援プラットフォームにおいて一元的に受け付けることにより、その後の対応をワンストップで行える体制を構築することとします。

模倣品や疑義情報にお困りの方や今後海外展開をご検討の方には、輸出支援プラットフォームを通じて、

1. 商標権等に基づく警告状の送付や冒認商標に対する異議申立などの費用の補助を行う農林水産省・特許庁の事業の紹介
2. 海外のGI申請や商標出願を行う者に対して申請又は出願費用の補助を行う農林水産省・特許庁の事業の紹介
3. 知的財産権確立に向けた、弁護士や弁理士等のアドバイスを希望する者に対するコンサルティングを支援する農林水産省事業の紹介
4. 寄せられた疑義情報や相談内容のうち産地偽装が疑われるケースなどは現地当局への情報提供や働きかけを行い、消費者保護や不正競争防止の観点からの対応を促す

などを、大使館・領事館、JETRO関係部署が一体となった複層的な対応を行うこととします。

今後、相談窓口は、順次、各輸出支援プラットフォームに設置していく予定としており、海外における我が国のブランド産品の模倣品排除とブランド保護を推進していきます。

2. タイ「農林水産物・食品の海外での模倣品等対策相談窓口」の設置

　今般、第一号となる「農林水産物・食品の海外での模倣品等対策相談窓口」をタイに設置しました。既にタイに進出している事業者、団体の皆様はもちろん、今後進出を考えている事業者、団体の皆様もぜひ御活用ください。

本相談窓口では、疑義情報の情報提供も受け付けています。事業者、団体の方だけでなく、消費者の方も含め、疑義情報に接したという方は、積極的に情報提供をお願いします。

なお、疑義情報の対象範囲は、農林水産品・食品に貼られたラベルの他に、レストランのメニュー、Web・新聞・雑誌・POP広告も含まれます。

【JETROタイ・バンコクWebページ】

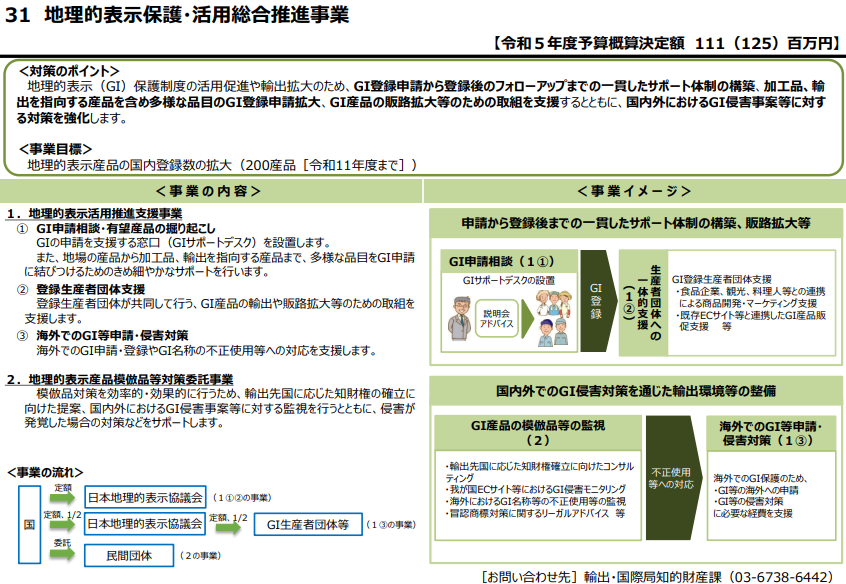
タイ・バンコク「農林水産物・食品の海外での模倣品等対策相談窓口」

<https://www.jetro.go.jp/agriportal/platform/th/ip.html>

【参考】

地理的表示保護・活用推進事業について

<https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/chizai/attach/pdf/230720-2.pdf>



添付資料

［プレスリリース］農林水産物・食品の海外での模倣品疑義情報相談窓口を設置

<https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/chizai/attach/pdf/231117-1.pdf>

　お問合せ先

輸出・国際局知的財産課　担当者：坂本、河井

代表：03-3502-8111（内線4285）　ダイヤルイン：03-6744-0234

**■***NEW***「森林資源の現況」について　2023/11/13**

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/keikaku/231013.html>

　　林野庁は、令和4年3月31日現在における森林資源の現況について、取りまとめました。

概要

林野庁は、全国森林計画策定の基礎資料を得ることを目的として、おおむね5年ごとに、森林資源の現況について調査を行い、全国森林計画の閣議決定と併せて公表しています。

集計結果は、以下のURLから御覧になれます。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/genkyou/r4/>

（1）森林面積

令和4年3月31日現在における我が国の森林面積は2,502万haで、ほぼ横ばいで推移しています。

（2）森林蓄積

令和4年3月31日現在における我が国の森林蓄積は、人工林を中心に年々増加してきており、55億6千万m3となりました（前回調査時（平成29年3月31日現在）：52億4千万m3）。

添付資料

別添1 森林資源の現況

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/keikaku/attach/pdf/231013-2.pdf>

別添2 森林面積・蓄積の推移

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/keikaku/attach/pdf/231013-3.pdf>

別添3 齢級構成

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/keikaku/attach/pdf/231013-4.pdf>

お問合せ先

林野庁森林整備部計画課　担当者：全国森林計画班　林、河野

代表：03-3502-8111（内線6155）ダイヤルイン：03-6744-2339

**■***NEW***新たな「全国森林計画」が決定しました　2023/11/13**

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/keikaku/231013_8.html>

**■「令和5年度病害虫発生予報第9号」の発表について　2023/11/15**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/231115.html>

**５.****[消費者庁関連](#消費者庁関連)**<https://www.caa.go.jp/>

**「消費者庁」になりすましたTwitter、Facebookアカウントにご注意ください。**

**■***NEW***レック株式会社に対する景品表示法に基づく課徴金納付命令について**

**2023年11月22日**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/035435/>

**消費者庁は、本日、レック株式会社に対し、同社が供給する「ノロウィルバルサン」と称する商品に係る表示について、景品表示法第8条第1項の規定に基づき、課徴金納付命令を発出しました。**

**公表資料**

**レック株式会社に対する景品表示法に基づく課徴金納付命令について**

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_231122_01.pdf>

**■***NEW***第2回令和5年度食品表示懇談会の開催について　2023/11/17**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/035361/>

　　標記の件について、下記のとおり開催いたしますので、お知らせいたします。

詳細

1.日時　令和5年11月24日(金)10:00～12:00

2.場所　新宿NSビル NS会議室 西ブロック 3-J

(東京都新宿区西新宿2丁目4番1号 新宿NSビル)

傍聴はウェブのみ

3.議題

1.諸外国との表示制度の比較

2.個別品目ごとの表示ルール

3.1.2.を踏まえ、今後の食品表示が目指していく方向性について、中長期的な羅針盤となるような制度の大枠を議論

4.その他

4.傍聴申込方法

傍聴を希望される場合は、令和5年11月21日(火)17:00までに下記登録フォームからお申込みください。なお、懇談会の運営については、SOMPOリスクマネジメント(株)(以下、「運営業者」という。)が行っておりますので、運営に関する問合せについては、運営業者にお願いいたします。

登録フォーム

URL: <https://sjnk-rm.smartseminar.jp/public/seminar/view/2327>

・多数の参加者が予想されますので、各社・各団体1名(回線)までの申込みとさせていただきます。

・運営業者が用意しているウェブ会議システム(Zoom)の仕様上、同時にアクセスできる枠に上限がございます。傍聴希望者多数の場合は、抽選等の方法により傍聴者を決めさせていただきます。

・参加いただける方へは、令和5年11月22日(水)までに、御登録いただきましたメールアドレスに運営業者から御連絡をいたします。

・参加いただけない方には、特段連絡をいたしません。

・傍聴申込みの締切り後に参加したい旨のお問合せをいただいても、対応いたしかねますのでご了承ください。

**5.傍聴時の留意事項**

**資料や議事録については、懇談会終了後下記のページに掲載いたしますので、御確認いただきますよう、御協力をよろしくお願いいたします。**

**<資料掲載予定ページ>**

**消費者庁ウェブサイト**

**URL:https://www.caa.go.jp/policies/policy/food\_labeling/meeting\_materials/review\_meeting\_007/035362.html**

**傍聴に当たり、次の留意事項を遵守してください。これらが遵守できない場合は、傍聴をお断りすることがあります。**

**・ウェブ会議を撮影、録画・録音をしないこと。**

**・ウェブ会議用の URL を転送したり SNS で公開したりしないこと。**

**・カメラ撮りは冒頭のみとなります。**

**・その他、事務局職員の指示に従ってください。**

**公表資料**

**第2回令和5年度食品表示懇談会の開催について**

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/food_labeling_cms201_20231117_01.pdf>

**関連リンク**

**第2回令和5年度食品表示懇談会(2023年11月24日)**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/meeting_materials/review_meeting_007/035362.html>

**【消費者庁懇談会事業】第2回令和5年度食品表示懇談会 傍聴**

<https://sjnk-rm.smartseminar.jp/public/seminar/view/2327>

**問合せ先**

**消費者庁食品表示企画課　山口、京増、坊**

**電話番号 03-3507-9223(直通)　FAX番号 03-3507-9292**

**■令和5年度食品衛生法等の表示に係る夏期一斉取締り結果について　2023/11/13**

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/food\_labeling/information/index.html#notice](https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/information/index.html%23notice)

**■第9回「送料無料」表示の見直しに関する意見交換会(2023年11月8日)　2023/11/10**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/meeting_materials/review_meeting_008/035318.html>

**消費者庁リコール情報サイト**<https://www.recall.caa.go.jp/>

**（回収中か否かに関わらず、だいたい一回の掲載で消去します）**

**★兵庫県立小野工業高等学校「台湾カステラ、ほか4商品」 - 返金／回収　包装等に不備がありカビが発生する可能性があるため　2023/11/22**

**★センチュリートレーディングカンパニー「パットゥ ア タルティネ トラディション、パットゥ ア タルティネ ノワゼット」 - 返金／回収　アレルゲン「乳、大豆」、香料の表示欠落　2023/11/22**

**★清美堂「地鶏めしの素」 - 返金／回収　アレルゲン「鶏肉」の表示欠落　2023/11/22**

**★UDリテール（MEGAドン・キホーテUNY伊那店）「おかず畑 さつまいも甘煮」 - 返金／回収　要冷蔵（10℃以下）で販売する商品を常温で販売　2023/11/22**

**★奥村醤油醸造場「甘口かけ醤油」 - 返金／回収　甘味料サッカリンNaが基準値（0.5g/kg未満）をこえて（0.54g/kg）検出されたため　2023/11/22**

**★100万$本舗稲美店「もちもちマフィン サツマ芋」 - 返金／回収　腐敗の恐れがあるため　2023/11/21**

　商品　もちもちマフィン サツマ芋

連絡先

100万$本舗

　〒675-1127　兵庫県加古郡稲美町中一色883

　　問合せ先：079-492-8855

　受付日時：8:00～19:00

わくわく広場イズミヤ西神戸店

　〒651-2412　兵庫県神戸市西区竜が岡1丁目21番地1

　問合せ先：078-940-8443

受付日時：10:00-20:00

対応方法

【回収情報の周知方法】11月17日朝　各販売店におけるPOPにより周知

【回収方法】　各販売所に連絡及び持参

【回収後の対応】　返金対応

対応開始日　2023年11月17日

対象の特定情報

商品名　：もちもちマフィン サツマ芋

内容量　：1個入り

形　態　：袋入り（脱酸素剤エージレス同封）

賞味期限：2023年12月3日、2023年12月13日

販売場所：①兵庫県加古郡稲美町中一色883

　　　　　②兵庫県神戸市西区竜が岡1丁目21番地1

販売先　：①100万$本舗稲美店で消費者向けに小売り

　　　　　②わくわく広場イズミヤ西神戸店で消費者向けに小売り

販売日　：①2023年11月3日から11月17日まで

　　　　　②2023年11月8日から11月17日まで

販売数量：①45個（賞味期限12月3日まで20個・賞味期限12月13日まで25個）

　　　　　②6個（賞味期限12月3日のみ）

参照情報

【厚生労働省】食品衛生申請等システム

参照情報　<https://ifas.mhlw.go.jp/faspub/_link.do?i=IO_S020502&p=RCL202303292>

備考

回収の理由：腐敗の恐れがあるため

**★ホクレン商事（屯田8条店）「しらす干し」 - 回収　ふぐの稚魚が混入　2023/11/21**

**★プライトーム「豚角煮170PTM 加熱食肉製品（包装後加熱）」 - 回収命令　大腸菌群陽性　2023/11/21**

**★島根県立出雲農林高等学校「プレスハム」 - 返金／回収　異物（アイスクラッシャーのカバー止めのネジ）が混入　2023/11/20**

**★丸久「自然の味いりこ」 - 返金／回収　フグのような稚魚が混入　2023/11/20**

**★広瀬パン店「5個入りあんぱん、ほか19商品」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦、乳成分」、保存方法、製造者氏名の欠落、賞味期限の不適切表示（年が欠落）　2023/11/20**

**★SEKAIE（韓ビニ藤沢OPA店）「【MAXIM】オリジナルコーヒー、ほか」 - 交換／回収　アレルゲン「乳、小麦粉、卵、大豆、豚肉、牛肉」の表示欠落　2023/11/17**

**★あおき（河津店、西伊豆店）「牛ハラミ味付け焼肉、牛ばらカルビ味付け焼肉」 - 返金／回収　保存方法の表示欠落（本来の保存法方法：冷凍（-18℃以下））　2023/11/17**

**★綿半パートナーズ（富士河口湖店）「蟹甲羅グラタン、濃厚ほたてグラタン、かきグラタン」 - 回収　保存温度の誤表示（誤：4℃以下、正：-18℃以下）　2023/11/17**

**★マルゼンフーズ（泉北高島屋）「マルゼンキムチ」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：23.12.22、正：23.11.18）　2023/11/17**

**★船曳商店「サムライオイスター」 - 回収命令　生食用かきの規格基準を超える細菌数を検出　2023/11/17**

**★丸福商事「上しらす干」 - 返金／回収　ふぐの稚魚とみられる異物が混入　2023/11/17**

**★イオンリテール（秦野店）「わたしの塩パン、ほか27商品」 - 返金／回収　消費期限の誤表示　2023/11/17**

**★明日香食品「大人の団子（みたらし）、和菓子グランプリ炙り団子（みたらし）」 - 返金／回収　異常な食味・臭気　2023/11/17**

**★SEKAIE（韓ビニ藤沢OPA店）「【CW】ガーリックバゲット」 - 交換／回収　アレルゲン「乳、小麦粉、大豆」の表示欠落　2023/11/16**

**★ベイシア「生食用しらす干し」 - 返金／回収　フグの稚魚が混入していたため　2023/11/16**

**★Honey×Honey xoxo「焼き菓子：栗マフィン、ほか8商品」 - 返金／回収　一部商品について糸を引き、納豆のような匂いがするとの申し出等があったため　2023/11/16**

　商品名　焼き菓子

栗マフィン、スイートポテトマフィン、焼きりんごマフィン、チョコチップマフィン、ミルクティーマフィン、ベーコンとクリームチーズマフィン、ざくろマフィン、ブルーベリーマフィン、チェリーマフィン

連絡先

Honey×Honey xoxo

　〒152-0031　東京都目黒区中根1-8-23

　問合せ先：080-2001-7336

　受付日時：10:00-17:00（土日祝日を除く）

対応方法

【回収情報の周知方法】

　X（twitter.com/WGspk1679）

　Instagram（<https://www.insatgram.com/honey.honey.xoxo>　）

【回収方法】

　60サイズのゆうパック発払いにて以下の住所までご郵送後、ご連絡ください。

（ご返金がお済みの方は当店にご連絡していただいてからの発送をお願い致します）

　Honey×Honey xoxo

　〒152-0031　東京都目黒区中根1-8-23

　問合せ先：080-2001-7336

　受付日時：10:00-17:00（土日祝日を除く）

【回収後の対応】

　返金対応（送料の代金も含む）

対応開始日 2023年11月14日

対象の特定情報

1. 商品名　：栗マフィン

　　　内容量　：1個

　形　態　：ラップ包装

　消費期限：2023.11.13

1. 商品名　：スイートポテトマフィン

　　　内容量　：1個

　形　態　：ラップ包装

　消費期限：2023.11.15、2023.11.16

1. 商品名　：焼きりんごマフィン

内容量　：1個

　形　態　：ラップ包装商品

　消費期限：2023.11.14

1. 商品名　：チョコチップマフィン

内容量　：1個

　形　態　：ラップ包装

　消費期限：2023.11.13

1. 商品名　：ミルクティーマフィン

内容量　：1個

　形　態　：ラップ包装

　消費期限：2023.11.13、2023.11.15

1. 商品名　：ベーコンとクリームチーズマフィン

内容量　：1個

　形　態　：ラップ包装

　消費期限：2023.11.16

1. 商品名　：ざくろマフィン

内容量　：1個

　形　態　：ラップ包装

　消費期限：2023.11.16

1. 商品名　：ブルーベリーマフィン

内容量　：1個

　形　態　：ラップ包装

　消費期限：2023.11.16

1. 商品名　：チェリーマフィン

内容量　：1個

　形　態　：ラップ包装

　消費期限：2023.11.16

販売場所：東京ビッグサイト（東京都江東区有明3丁目11-1）

デザインフェスタvol58出店ブース

販売日　：令和5年11月11日から11月12日

販売数量：①502個、②537個、③502個、④502個、⑤358個、⑥502個、⑦35個、⑧35個、⑨35個

参照情報 【厚生労働省】食品衛生申請等システム参照情報

備考

回収の理由：

　一部商品について糸を引き、納豆のような匂いがするとの申し出や、食べた後に体調不良があったとの連絡があったため。

**★鎌倉ハム富岡商会「熟成ももハム、ほか」 - 返金／回収　冷蔵ショーケース故障により商品の保存温度（10℃以下）と異なる温度で陳列販売　2023/11/16**

**★ミルン牧場「牛乳」 - 回収　自記温度計の記録がなかったため　2023/11/16**

**★BAKE「しろいし洋菓子店：パウンドケーキ（アールグレイ&クリームチーズ、ショコラ&マロン）」 - 返金／回収　封入している脱酸素剤の間違いのため賞味期限内であってもカビが生じるおそれがあるため　2023/11/16**

**★神戸物産「ハニーバターポップコーン」 - 返金／回収　一部商品で当該商品に使用できない食品添加物（TBHQ）が検出されたため　2023/11/16**

**６.** **[食中毒・感染症](#食中毒・感染症)**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8068a715873c6ec58e1b8a24b767bfef42745261>

**■：行政発表が見つからなかったもの**

**★細菌性食中毒★**

**■2・5次元俳優イベントの公式が謝罪　キッチンカー食品購入者から体調不良訴え「深くお詫び」**

**2023年11月21日 8時56分　スポニチアネックス　東京都稲城市　世田谷区**

**調査中?**

<https://news.livedoor.com/article/detail/25389559/>

**「あくたーず☆りーぐ アートフェスタ in よみうりランド」の キッチンカー商品に関する重要なお知らせ　2023/11/20　東京都稲城市　世田谷区**

**調査中**

<https://www.hiragana-actors-league.com/pdf/info1120a.pdf>

**「あくたーず☆りーぐ アートフェスタ in よみうりランド」の キッチンカー商品に関するご報告　2023/11/21　東京都稲城市　世田谷区**

**調査中**

<https://www.hiragana-actors-league.com/pdf/info1121a.pdf>

**NAOKI’S　　世田谷区**

<https://kitchencars-japan.com/k/naokis>

**■記者発表資料　令和５年11月18日12時00分　福岡県春日市**

**腸管出血性大腸菌感染症**

**調査中**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/207249.pdf>

　１ 事件の探知

令和５年 11 月 13 日（月）に春日市の医療機関から、腸管出血性大腸菌感染症発生の届出が筑紫保健福祉環境事務所に１名、14 日（火）、16 日（木）、17 日（金）に福岡市の医療機関から、腸管出血性大腸菌感染症発生の届出が福岡市南保健所及び同市中央保健所にそれぞれ１名、合計４名分あり、いずれも春日市内の同一飲食店の利用歴があることが判明した。

２ 概要

　　患者の所在地を所管する筑紫保健福祉環境事務所、福岡市南保健所及び同市城南保健所が調査したところ、３グループ８名（内訳：２名、３名、３名、いずれも親族グループ）でそれぞれ１１月３日（金）、４日（土）、５日（日）に春日市内の飲食店を利用し、うち４名が腹痛、下痢、血便等の症状を呈していることが判明した。

現在、筑紫保健福祉環境事務所等において、食中毒及び感染症の両面から調査を進めている。

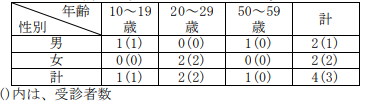
３ 発生日時　調査中　判明分：令和５年 11 月５日（日）昼過ぎ（初発）

４ 摂食者数　調査中　判明分：８名

５ 症状　調査中　判明分：腹痛、下痢、血便等

６ 有症者数　調査中　判明分：４名

うち３名が医療機関を受診し、１名が入院したが、16 日に退院している。

重篤な症状を呈した者はいない。

　７ 原因施設、原因食品、原因物質　調査中

８ 検査　福岡県保健環境研究所で有症者及び従事者の便等を検査予定

９ その他

　〈参考〉県下における食中毒の発生状況（11 月 17 日時点。調査中の事件を除く）



■**「デザフェス」出店の菓子店で食中毒、謝罪　マフィン購入者が腹痛や「糸引いてる」訴え　管理に批判殺到　11/14(火) 9:59配信　スポニチアネックス　江東区・目黒区**

**調査中**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/f19df240e5eedd6c11742c4de98dc565ae639a28>

**区内で製造されたマフィンによる体調不良者の発生　2023/11/16　目黒区**

<https://www.city.meguro.tokyo.jp/seikatsueisei/kenkoufukushi/eisei/oshirase20231116.html>

概要

令和5年11月11日（土曜日）および11月12日（日曜日）の2日間、東京ビッグサイトで開催されたイベント「デザインフェスタ」に出店していた目黒区内の施設が製造・販売した一部マフィンについて、購入者から「納豆のような臭いと糸を引いているのを確認した」などの申し出があったほか、喫食後に腹痛等の症状を呈しているかたが複数名確認されました。

原因等の詳細については現在調査中ですが、当該対象商品をお持ちのかたは、喫食されないようお願いいたします。

また、既に喫食され、体調不良を呈したかたは、お住いの住所地を管轄する保健所にご相談ください。

なお、同じブースにて販売されていたマフィン以外の焼菓子について、喫食後に体調不良を呈した旨の報告は現在のところございません。

施設名称、所在地

施設名：Honey×Honey　xoxo（ハニーハニーキス）

施設所在地：東京都目黒区

販売日、販売場所

販売日：令和5年11月11日（土曜日）および11月12日（日曜日）

販売場所：東京ビッグサイト（東京都江東区有明三丁目11番1号）デザインフェスタ出店ブース

対象商品

栗マフィン

チョコチップマフィン

スイートポテトマフィン

ミルクティーマフィン

焼きりんごマフィン

ベーコンとクリームチーズマフィン

ざくろマフィン

ブルーベリーマフィン

チェリーマフィン

**■客13人が食中毒…ご飯、みそ汁、ハンバーグ、生卵、おしんこ定食を店で食べていた　客は10～20代、10人からO157検出…5人が入院　店は営業停止に**

**11/23(木) 7:04配信　埼玉新聞　埼玉県越谷市**

**腸管出血性大腸菌O157**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/214eb2b467c67c7a90c9e8717b494dd98452580f>

**越谷市内で発生した食中毒事件　2023/11/21　埼玉県越谷市**

**腸管出血性大腸菌O157**

<https://www.city.koshigaya.saitama.jp/kurashi_shisei/fukushi/hokenjo/shokuhin/files/20231121houdousiryou_mask_O157.pdf>

１ 食中毒の概要（１１月２０日時点）

（１）探 知

１１月１５日（水）～１１月１６日（木）にかけて、複数自治体から腸管出血性大腸菌Ｏ１５７の患者発生の届出を受理した旨の連絡があり、患者へ聞き取り調査を行ったところ、共通して越谷市内の飲食店を利用していたことから、調査を開始した。

（２）喫食日時：１０月３１日（火）～１１月１２日（日）

（３）発症日時 ：１１月６日（月）～１１月１５日（水）

（４）喫食者数：１０グループ、２４名

（５）患 者 数：１３名（１０代～２０代、男性５名、女性８名）

※５名入院、全員快方に向かっている。

（６）主な症状 ：腹痛、下痢、発熱等

（７）喫食メニュー：ハンバーグ定食（ハンバーグ、生卵、おしんこ、ご飯、みそ汁)等

（８）原因施設 ：

　　ア 名 称：トラブミート

　　イ 所 在 地：越谷市

　　エ 業 種：飲食店営業

　　オ 病因物質 ：腸管出血性大腸菌Ｏ１５７

２ 原因施設として断定した理由

（１）患者１０名の便から腸管出血性大腸菌Ｏ１５７とベロ毒素が検出されたこと。

（２）患者の症状及び潜伏期間が腸管出血性大腸菌Ｏ１５７によるものと一致したこと。

（３）患者の共通食が１０月３１日（火）～１１月１２日（日）に原因施設で調理、提供された料理に限られること。

３ 行政処分の内容　食品衛生法第６条第３号違反　同法第６０条第１項に基づき営業停止

処 分 年 月 日：令和５年１１月２１日（火）

営業停止３日間：令和５年１１月２１日（火）～１１月２３日（木）

４ 指導内容

越谷市保健所では、営業停止期間中に食中毒の再発防止を目的として、営業者、調理従事者に対する衛生教育等を行う。

問合せ 保健医療部 保健所　生活衛生課長 鈴木 一良

直通 048-973-7533（8：30～17：15）080-8813-6858（17：15 以降）

**■食中毒（疑い）が発生しました　発表日：2023年11月18日 12時00分 印刷**

**担当課：生活衛生課　福岡県春日市**

**腸管出血性大腸菌**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/shokuchudoku20231118.html>

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/207249.pdf>

１ 事件の探知

令和５年 11 月 13 日（月）に春日市の医療機関から、腸管出血性大腸菌感染症発生の届出が筑紫保健福祉環境事務所に１名、14 日（火）、16 日（木）、17 日（金）に福岡市の医療機関から、腸管出血性大腸菌感染症発生の届出が福岡市南保健所及び同市中央保健所にそれぞれ１名、合計４名分あり、いずれも春日市内の同一飲食店の利用歴があることが判明した。

２ 概要

患者の所在地を所管する筑紫保健福祉環境事務所、福岡市南保健所及び同市城南保健所が調査したところ、３グループ８名（内訳：２名、３名、３名、いずれも親族グループ）でそれぞれ１１月３日（金）、４日（土）、５日（日）に春日市内の飲食店を利用し、うち４名が腹痛、下痢、血便等の症状を呈していることが判明した。

現在、筑紫保健福祉環境事務所等において、食中毒及び感染症の両面から調査を進めている。

３ 発生日時　調査中　判明分：令和５年 11 月５日（日）昼過ぎ（初発）

４ 摂食者数　調査中　判明分：８名

５ 症状　調査中　判明分：腹痛、下痢、血便等

６ 有症者数　調査中　判明分：４名

うち３名が医療機関を受診し、１名が入院したが、16 日に退院している。

重篤な症状を呈した者はいない。テーブル

自動的に生成された説明

７ 原因施設、原因食品、原因物質　調査中

８ 検査　福岡県保健環境研究所で有症者及び従事者の便等を検査予定

９ その他

〈参考〉県下における食中毒の発生状況（11 月 17 日時点。調査中の事件を除く）テーブル

自動的に生成された説明

**■福島の居酒屋で食中毒、今回で3回目　加熱不十分の焼き鳥提供か**

**11/23(木) 10:43配信　福島民友新聞　福島県福島市**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/7c8cc37107bf3c7f250c739fe2a6cf46ac054e82>

**福島市内の飲食店で食中毒　今年3月にも（福島）**

**11/22(水) 21:09配信　KFB福島放送****福島県福島市**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/42e34eadf5a235c7af332a59e18c4993fa47bca5>

**福島市の焼き鳥店で2度目の食中毒　焼き鳥食べた男女3人が症状訴える　営業禁止処分に＜福島県＞　11/22(水) 17:00配信　福島テレビ****福島県福島市**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/452dc255071ff8cfd7dc9f62e0c231c4addc81db>

**福島市の居酒屋で今年2回目の食中毒　鶏肉料理食べた3人が腹痛や発熱　カンピロバクター検出　福島　11/22(水) 16:33配信　TUFテレビユー福島****福島県福島市**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/519939c157aef3628f8b262c742b82dc294062e9>

**■食品衛生法違反者等の公表について　2023/11/20　豊島区**

**カンピロバクター**

<https://www.city.toshima.lg.jp/217/kurashi/ese/shokuhin/1502191311.html>

　公表年月日 令和5年11月20日

施設の名称及び所在地

鶏と鉄板焼　宮本　Esola池袋店

東京都豊島区

業種等 飲食店営業

主な適用条項 食品衛生法第6条の規定に違反するので、同法第60条を適用する。

不利益処分等を行った理由 食中毒の発生

不利益処分等の内容　営業等停止期間：令和5年11月20日から22日まで（3日間）

なお、営業者は11月11日から営業を自粛しています。

備考

原因食品：当該施設が提供した食事（鶏肉料理を含む。）

病因物質：カンピロバクター・ジェジュニ

患者数：6名

**■三木町の飲食店で食中毒か 保健所が３日間の営業停止処分**

**11月20日　20時56分　香川 NEWS WEB　香川県三木町**

**カンピロバクター**

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/takamatsu/20231120/8030017311.html>

**令和５年 食中毒の発生状況　2023/11/11　香川県三木町**

**カンピロバクター**

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/documents/659/r508sokuhou.pdf>

　発生年月日　2023/11/15

　発生場所　さぬき市他

　摂食者数　3

　患者数　3

　原因食品　不明（11月８日に提供された食事）

　病因物質　カンピロバクター・ジェジュニ

　原因施設　飲食店

　摂食場所　飲食店

**■食中毒事件の発生について　2023/11/17　徳島県**

**ウエルシュ菌**

<https://anshin.pref.tokushima.jp/docs/2023111700018/>

　　県内で発生した食中毒事件について、次のとおりお知らせします。

１　喫食者数および有症者数　有症者：６名（喫食者：６名）

２　主症状　下痢、腹痛、吐き気 　等（全員回復傾向）

３　原因食品　１１月１２日（日）に提供した昼食又は夜食

　　　（参考メニュー）

　　　　昼食：ハンバーグ、ひじきの煮物、切干大根、千切りキャベツ、白飯等

　　　　夕食：キムチうどん、ちくわの天ぷら、白飯

５　原因物質　ウエルシュ菌

６　その他　ウエルシュ菌による食中毒防止のためには、次のことが大切です。

1.前日調理、室温放置は避け、加熱調理したものはなるべく早く食べること。

　2.食品中での菌の増殖を防ぐため、加熱調理したものは速やかに冷却を行うこと。

　3.食品を保存する場合は、１０℃以下か５５℃以上にする。

　4.食品を再加熱する場合は、十分に加熱して早めに食べる。

**★ウイルスによる食中毒★**

**■社会福祉施設で感染性胃腸炎62人集団発生　利用者や職員ら嘔吐や下痢の症状訴える　患者からノロウイルス検出　伊万里保健福祉事務所管内**

**11/23(木) 13:09配信　佐賀新聞****佐賀県**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/c09b6dacea41f6a5591b07b6aae530816acf5018>

**感染性胃腸炎に注意しましょう　令和5年11月22日**

**健康福祉政策課　感染症対策担当　佐賀県**

**ノロウイルス**

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00399871/index.html>

感染性胃腸炎の集団発生が、伊万里保健福祉事務所管内で確認されました。

これから、ノロウイルス等を含む感染性胃腸炎の発生が増加する時期です。手洗いの徹底や食材等の十分な加熱を心がけ、予防に努めましょう。

感染性胃腸炎の原因となるノロウイルス等は、感染者のおう吐物や糞便の不適切な処理や不十分な手洗いなどで人から人へ二次感染を起こしやすく、集団生活の場では特に注意が必要です。

また、おう吐や下痢の症状が出るため、特に高齢者や子どもは、脱水などを起こし、重症化することがありますので御注意ください。

記

1　発生の概要

（1）疾病名　　感染性胃腸炎（五類感染症）

（2）発生場所　伊万里保健福祉事務所管内の社会福祉施設

（3）患者数　　62名（利用者52名、職員10名）

（4）患者の状況

　　・11月14日から11月21日までに62名がおう吐や下痢を発症した。

・発症した者の中に、重症者（入院者）はいない。

　　・11月21日に衛生薬業センターで検査を実施し、発症した3名の便からノロウイルスが検出された。

2　伊万里保健福祉事務所の対応

当該施設を訪問し、感染拡大防止（施設内の消毒の徹底、おう吐物や排泄物の適切な処理、手洗いの実施など）について指導した。

**★寄生虫による食中毒★**

**■飲食店営業施設等に対する不利益処分等**

**営業施設に対し、品川区が行った不利益処分等についてお知らせします。　2023/11/22**

**品川区**

**アニサキス**

<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/PC/kenkou/kenkou-eisei/kenkou-eisei-syokuhin/hpg000025581.html>

　公表年月日 令和5年11月22日

被処分者業種等 飲食店営業

施設の名称および施設の所在地

おもてなし料理　田

東京都品川区

適用条項

食品衛生法（食品衛生法等の一部を改正する法律（平成30年法律第46号）第2条の規定による改正前の食品衛生法（昭和22年法律第233号）。以下「法」という。）第6条第3号の規定に違反するので、法第55条第1項の規定を適用

※食品衛生法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令（令和元年政令第123号）附則第2条の規定により、なお従前の例により当該営業を行うことができるとされた者であるから、当該営業者に対する不利益処分については、この法を適用する。

不利益処分を行った理由 食中毒の発生

不利益処分等の内容　　令和5年11月22日の1日間の営業の一部停止

（一部：生鮮魚介類（冷凍品を除く）の生食用での調理、提供に限る。※冷凍品とは－20℃で24時間以上冷凍をしたものをいう。）

備考

原因食品：当該施設が調理をした食品（寿司（キンメダイ、ブリ、コハダ）、マグロの山かけ）

病因物質：アニサキス

**■アニサキス…飲食店の客、深夜に腹痛が始まる　イワシ、アジ、サバの青魚3点盛り食べていた　カンパチ、マグロ、イカのすしも7時間前に…2人で食事、男性のみ症状　医療機関で虫体摘出、店は営業停止に　11/17(金) 22:42配信　埼玉新聞****埼玉県越谷市**

**アニサキス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/ffad5e7e3053155e6a39216f96fa422397a46631>

**食中毒を発生させた施設の行政処分について　2023/11/16　埼玉県越谷市**

**アニサキス**

<https://www.city.koshigaya.saitama.jp/kurashi_shisei/fukushi/hokenjo/shokuhin/files/20231116houdousiryou_sakujo.pdf>

１ 食中毒の概要

（１）探 知

令和５年１１月１０日（金）午後３時３０分頃、『越谷市内の飲食店を利用して腹痛等の症状を呈し、医療機関を受診したところ、内視鏡でアニサキスが摘出された』旨の連絡があり、調査を開始した。

（２）喫食日時 ：１１月９日（木）午後７時頃

（３）発症日時 ：１１月１０日（金）午前２時頃

（４）摂食者数 ：２名

（５）患 者 数：１名（５０代、男性）※病院を受診したが、入院はしていない。

（６）主な症状 ：腹痛、下痢、吐き気

（７）喫食メニュー：青魚３点盛り（イワシ、アジ、サバ）、寿司（カンパチ、マグロ、イカ等）

　　　　　　　　他

（８）原因施設 ：

　　ア 名 称：

イ 所 在 地：越谷市

ウ 営 業 者：

エ 業 種：飲食店営業

　　オ 病因物質 ：アニサキス

２ 原因施設として断定した理由

（１）患者から摘出された虫体がアニサキスと確定されたこと。

（２）アニサキスは生の魚介類を食べることにより感染するものであり、潜伏期間を考慮すると、患者が生で食べた魚介類は、当該施設で喫食した食品のみであること。

（３）患者の症状及び潜伏期間がアニサキスによるものと一致したこと。

（４）患者を診察した医師から食中毒の届出があったこと。

３ 行政処分の内容

食品衛生法第６条第３号違反　同法第６０条第１項に基づき営業停止

処 分 年 月 日：令和５年１１月１６日（木）

営業停止１日間：令和５年１１月１６日（木）

飲食店営業の一部停止

（停止を命令した営業の内容：－２０℃以下で２４時間以上冷凍していない生食用鮮魚介類の調理、提供）

４ 指導内容

越谷市保健所では、営業停止期間中に食中毒の再発防止を目的として、営業者、調理従事者に対する衛生教育等を行う。

**■食中毒（疑い）が発生しました　発表日：2023年11月17日 11時00分　生活衛生課**

**福岡県福岡市**

**アニサキス**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/shokuchudoku20231117.html>

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/207187.pdf>

　１　事件の探知

　令和５年１１月１６日（木）、福岡市の医療機関から、食中毒様症状を呈した患者を診察し、胃アニサキス症と診断した旨、福岡市博多保健所に届出があり、患者が糟屋郡在住であったため、同市から本県に連絡があった。

２　概要

　　患者の住所を所管する粕屋保健福祉事務所が調査したところ、１１月１５日（水）１３時頃、福岡市内の飲食店で刺身等を喫食した知人グループ２名のうち１名が、同日１６時～１８時頃から嘔気、腹痛を呈していることが判明した。

　現在、同事務所において、食中毒疑いとして調査を進めている。

３　発生日時　判明分：令和５年１１月１５日（水）１６時～１８時頃

４　摂食者数　調査中　判明分：２名

５　症状　判明分：嘔気、腹痛

６　有症者数　調査中　判明分：１名（７０代男性）

　　　　　　　　１６日に医療機関を受診し、入院はしていない。

　　　　　　　　重篤な症状は呈しておらず、回復している。

７　原因施設、原因食品、原因物質

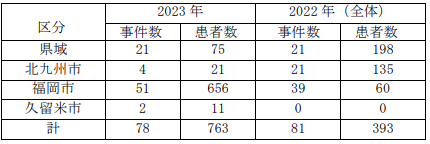
（１）原因施設：調査中

（２）原因食品：調査中

（３）原因物質：アニサキス

8　その他

〈参考〉県下における食中毒の発生状況（11月17日現在​。調査中の事件を除く。）



**★自然毒による食中毒★**

**■死に至る危険も…ヨウシュヤマゴボウの実を食べた女性が食中毒で搬送　香川県が注意喚起**

**11/22(水) 18:07配信　KSB瀬戸内海放送　香川県丸亀市**

**植物性自然毒　ヨウシュヤマゴボウ**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/c9865219c77245a51cdfb0b43b30138b92961797>

**食べると死亡するケースも...丸亀市の女性　野草「ヨウシュヤマゴボウ」の実食べ救急搬送【香川】　11/22(水) 16:00配信　OHK岡山放送****香川県丸亀市**

**植物性自然毒　ヨウシュヤマゴボウ**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/21184c985b47615aa1b0320329993c831ff1a68b>

**令和５年 食中毒の発生状況　2023/11/15　香川県丸亀市**

**植物性自然毒　ヨウシュヤマゴボウ**

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/documents/659/r508sokuhou.pdf>

　発生年月日　2023/11/15発生場所　丸亀市

　摂食者数　1

　患者数　1

　原因食品　ヨウシュヤマゴボウ

　病因物質　植物性自然毒

　原因施設　家庭

　摂食場所　家庭

**■スイセン食べ８０代女性が食中毒　群馬・高崎市**

**2023/11/18 06:00　上毛新聞****群馬県高崎市**

**植物性自然毒　スイセン**

<https://www.jomo-news.co.jp/articles/-/377241>

**令和5年高崎市食中毒発生状況（速報）市内で発生した有毒植物による食中毒事件について**

**2023/11/16　群馬県高崎市**

**植物性自然毒　スイセン**

<http://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2014011801615/>

令和5年11月16日（木）12時30分頃、市内医療機関より「嘔吐、下痢の症状を呈した患者が救急搬送され、問診及び発症の状況からスイセンによる食中毒を疑っている。」旨の電話連絡が高崎市保健所にありました。調査の結果、11月15日（水）18時に原因食品を喫食し、18時30分頃から悪心、嘔吐、下痢の症状を呈していることが分かりました。

高崎市保健所は、患者の発症時間及び症状がスイセンによる食中毒に類似していたこと、患者を診察した医師より食中毒患者届出票が提出されたことから、本件を有毒植物のスイセンを原因とする食中毒事件と断定しました。

**原因食品（推定）**自宅庭で採取した植物（スイセン（推定））を使用した料理

**★化学物質による食中毒★**

**■**

**★細菌による感染症★**

**■腸管出血性大腸菌感染症の入院事例について（令和5年11月22日）　福岡県糟屋郡**

**感染症　腸管出血性大腸菌（Ｏ１５７ ＶＴ２＋）**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/207477.pdf>

　　令和５年１１月２１日、粕屋保健福祉事務所に、管内の医療機関から腸管出血性大腸菌感染症の届出があり、患者が入院していることが判明しましたのでお知らせします。

１ 患者

（１）年齢等　６６歳、女性、糟屋郡在住

（２）経過

　　　　１１月１０日 腹痛が出現。

　　　　１１月１１日 下痢、血便が出現。

１１月１２日 症状が継続したためＡ医療機関を受診し、同日入院。

１１月２１日 検査の結果、腸管出血性大腸菌（Ｏ１５７ ＶＴ２＋）の感染が判明。

現在、治療中であり、症状は改善傾向にある。

２ 原因　調査中。

３ 行政対応

患者及び家族に対し健康調査、疫学調査を実施し、二次感染予防の指導を行っている。

※ 腸管出血性大腸菌感染症患者・無症状病原体保有者（保菌者）の届出状況

（北九州市・福岡市・久留米市を除く）

（令和５年１１月２２日現在）テーブル

自動的に生成された説明

**■腸管出血性大腸菌感染症の入院事例について　発表日：2023年11月20日 印刷**

**担当課：がん感染症疾病対策課感染症対策係　令和５年１１月２０日１８時４５分**

**福岡県福岡市**

**感染症　腸管出血性大腸菌（Ｏ１５７ ＶＴ２＋）の**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/207336.pdf>

令和５年１１月２０日、粕屋保健福祉事務所に、管内の医療機関から腸管出血性大腸菌感染症の届出があり、患者が入院していることが判明しましたのでお知らせします。

１ 患者

（１）年齢等　７１歳、男性、福岡市在住

（２）経過

　　１１月１３日 腹痛、下痢、血便が出現。

１１月１４日 症状が継続したためＡ医療機関を受診。同日、Ｂ医療機関を受診。

１１月１５日 症状が継続したためＢ医療機関を再度受診し入院。

１１月２０日 検査の結果、腸管出血性大腸菌（Ｏ１５７ ＶＴ２＋）の感染が判明。

現在、治療中であり、症状は改善傾向にある。

２ 原因　調査中。

３ 行政対応

患者及び家族に対し健康調査、疫学調査を実施し、二次感染予防の指導を行っている。

※ 腸管出血性大腸菌感染症患者・無症状病原体保有者（保菌者）の届出状況

（北九州市・福岡市・久留米市を除く）（令和５年１１月２０日現在）

アプリケーション, テーブル

自動的に生成された説明

**■保育施設で腸管出血性大腸菌（O111）集団感染　新たに6歳男児1人から確認、計74人に　鹿屋保健所　11/22(水) 15:35配信　南日本新聞社****鹿児島県鹿屋市**

**感染症　腸管出血性大腸菌（Ｏ１１１）**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/301315de783d2b8ff7d50ff40fff50f137755fec>

**腸管出血性大腸菌集団感染７４人に　鹿屋市保育施設　鹿児島**

**11/21(火) 16:17配信　MBC南日本放送　鹿児島県鹿屋市**

**感染症　腸管出血性大腸菌（Ｏ１１１）**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/b0018c7f477fa80eac40218eac4b560739d1b463>

**★ウイルスによる感染症★**

**■**

**★その他の感染症★**

**■**

**★違反食品・回収等★**

**■座間でも影響 豚肉産地偽装問題〈海老名市・座間市・綾瀬市〉**

**11/19(日) 17:00配信　タウンニュース　神奈川県　海老名市・座間市・綾瀬市**

<https://article.yahoo.co.jp/detail/c70d595e423b038d654677e05e331bdcc3fa3474>

**■ブラジルやタイ産の鶏肉を“宮崎県産”と産地偽装…販売業者を行政指導　都城市のふるさと納税の返礼品も取り扱い　11/19(日) 12:32配信**

**FNNプライムオンライン　熊本県球磨郡錦町**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/755639f5ddab12fae5499a98646ddd23925f7bbb>

**★その他関連ニュース★**

**■中国の子どもに広がる「謎の呼吸器疾患」についてわかっていること**

**11/24(金) 10:30配信　Forbes JAPAN**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/875875f08b7aec3ecc96e4e441e2fc136cc9636a>

**■【感染症ニュース】咽頭結膜熱全国で警報レベルに　炎症で傷ついたノドから細菌が二次感染の恐れも…　長引く症状あれば再度医療機関受診を　11/24(金) 7:00配信**

**感染症・予防接種ナビ**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/0d25d52b372d876f8b1e525a789f696a3ee20050>

**■吉田屋食中毒、食材の一部保存せず　2023/11/23　web東奥**

<https://www.toonippo.co.jp/articles/-/1677623>

**■【感染症情報】インフルエンザが減少に転じる - 新型コロナは10週連続減少**

**11/21(火) 17:00配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/56b7898e315dce5b7cfbbef8876bcdea892dffc7>

**■プール熱患者数、過去10年最多を4週連続更新 - 45都道府県で前週上回る**

**11/21(火) 13:20配信****医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/f4cdccc0b780f545b810bf77b1b119b9225d2669>

**■インフルエンザ患者報告数が減少に転じる - 入院も減少、第45週の発生状況**

**11/17(金) 20:40配信****医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8cbcc1de1167d336edce11e705a9220d3b2cc262>

**■新型コロナ患者報告数が10週連続で減少 - 第45週の発生状況、厚労省**

**11/17(金) 20:34配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/885596834a1ccb415b3a6debcc36f587636d4b38>